



「わくわく」について話し合った代表委員会

昨日16日(月)に、今年度初めての代表委員会が開かれました。代表委員会は、高学年を中心とした、各学級の代表、各委員会の代表、運営委員会によって組織します。また、必要に応じて各クラブの代表やたてわり班の代表等の参加も考えられます。代表委員会は、自治的、自発的に自分たちの学校生活をよりよいもの



にするために、話し合うことによって、学校の文化を醸成していくのです。昨日の議題はずばり!「全校かくれんぼをやろう!」でした。提案理由に、「『学年を超えて仲良くする』に行きついていません。そこで、全校かくれんぼをやることで、児童会目標の『それぞれを認め合い』に近づけると思ったからです(一部抜粋)」とあります。子供たちはもっと学年を超えて仲良くなるために、白熱した議論を行っていました。話し合ったことは、「鬼は誰がするか」、「もっと楽しめるような追加の工夫」などでした。事前に各学級で意見を集約し、それを代表委員会の話し合いに反映させていました。

昨年度の「全校かくれんぼ」の体験を、今年度も生かしつつ、新たな発想を加えて、さらに進化した「全校かくれんぼ」になると思っています。11月24日(金)に予定されていますので、今回の話し合いを基に、さらに企画委員会が練り上げて準備してくれることを楽しみにしています。今から楽しみで「わくわく」しますね。

3年生見学旅行

今日は、3年生の見学旅行でした。3年生は、みかん選果場、優峰園、熊本市防災センターに行きました。

みかん選果場では、「美味しいみかんは、ここでいろんな人が頑張ってくださって私たちのもとに届くんだと思いました。」と感想を述べています。また、優峰園では、河内の太陽の恵みをいっぱいを受けて育った美味しいみかんが今年もたくさん実っていました。今、金峰山の山麓では、みかんがたわわに実り、太陽の光を浴びて、黄金色に輝いています。みかん農家に聞くと「太陽からの光、海面からの反射光、石垣からの反射光があることがみかんの生育を手助けしています。」ということでした。子供たちは、「いろんな大きさのみかんがあった。」「説明してもらえて、授業よりよく分かった」と口々に気付きや感想を言いながら、みかん狩りを楽しむことができました。ちなみに、小さいミカンが美味しいそうですが、大き過ぎても小さ過ぎてもいけないそうです。

防災センターでは、地震体験・台風体験・火災避難体験などの貴重な体験や消防車見学をしました。火災避難体験をした子供は、「煙で何も見えない怖さを実感しました。」と口にしました。たくさんのみかんと多くの学びを収穫した3年生でした。

